

2025 年度
第 8 回理事会議事録

日 時 2026 年 2 月 14 日（土）13 時 00 分～15 時 10 分
場 所 ハイブリッド会議
出 席 森野会長*, 山下*・下江*・下澤*副会長, 松井専務理事*（※）, 大西*・河西*・
前川*・石川*・片岡*・松尾*常務理事, 佐野・藤王・鬼束理事
（理事 14 名中 14 名出席）
上野・秋山*監事（監事 2 名中 2 名出席）
*歯科技工士会館から出席

<※印：進行>

WEB システムを使用した会議を行うにあたり、WEB 出席者の音声、画像が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様の適時的確な意見表明が互いにできる仕組みとなっていることが確認されたので、議長は開会を宣し、理事会の議事進行を松井専務理事に委任して本理事会が開催された。

【 議 事 内 容 】

1 会長挨拶

地域組織における創立記念式典、新年祝賀会への出席、令和 7 年度歯科技工士国家試験の実施、インフルエンザ流行等に伴う感染予防の大切さ等について挨拶があった。

2 議 案

（1）全 般

- ア 会務の確認及び担当役員を決定し、挙手 14 名により全会一致で承認した。
- イ 2026 年度事業計画・予算（案）について、挙手 14 名により全会一致で承認した。
- ウ 特定非営利活動法人日本歯周病学会からの「第 69 回春季学術大会」（2026 年 5 月 22 日～23 日）への後援名義使用許可申請について、挙手 14 名により全会一致で承認した。

3 報告・協議事項

定款第 26 条第 3 項に基づき、会長・業務執行理事等から以下の報告等があった。

（1）全 般

- ア 本日開催の「第 2 回全国会長懇談会」での的確で真摯な対応の必要性等について時局報告があった（森野会長）。
- イ 「第 2 回全国会長懇談会」提出内容・資料、地域組織会長からの質問・要望事項への回答内容等について確認を行った（松井専務理事、全役員）。
- ウ 「医療機関への支援に関する重点支援地方

交付金」の歯科技工士への全国的な支給状況調査結果等について説明があった（森野会長、下江・下澤副会長、前川・片岡常務理事、佐野・鬼束理事）。

エ 2025 年度事業経過報告（案）作成へ向けた担当役員等について説明があった（松井専務理事）。

オ 第 15 回社員総会及び本任期中における 2026 年度理事会の開催日程等について説明があった（森野会長、松井専務理事）。

カ 「第 4 回日技次世代委員会」（2026 年 1 月 16 日）の内容について報告があった（佐野理事）。

キ 「歯科技工士法制定および日本歯科技工士会創立 70 周年地域交流記念事業」の一環として作成中の「日技会史」発行予定等について報告があった（下澤副会長）。

（2）事業推進

ア 厚生労働省委託「歯科補てつ物製作過程等の情報提供推進事業」における患者アンケート収集状況について報告があった（片岡常務理事）。

イ 厚生労働省委託「歯科技工所業務形態改善等に係る調査・検証事業一式」における各種検証事業の進捗状況について報告があった（山下副会長、松井専務理事）。

ウ 厚生労働省委託「歯科技工所業務形態改善等調査検証事業」(令和6年度補正予算事業)に関する「第1回歯科技工所実態把握および認定制度基盤整備委員会」(2026年1月28日)の内容及び歯科技工所の営業実態確認調査の実施について報告があった(松井専務理事)。

エ 「2025年度第1回「製作技工に要する費用」に関わる検討委員会」(2026年2月12日)の内容について報告があった(大西常務理事)。

オ 本年3月1日実施予定の歯科用貴金属価格随時改定の内容について報告があった(大西常務理事)。

カ 中央社会保険医療協議会(中医協)答申に示された令和8年度診療報酬改定における歯科技工に関連する改定予定内容等について説明がされるとともに、今回の改定内容の会員等への周知・啓発方法等について検討が行われた(森野会長, 大西常務理事, 全役員)。

(3) 法人運営

ア 「第4回調査研究委員会」(2026年2月5日)の内容について報告があった(下澤副会長)。

(4) 財務管理

ア 「第2回役員報酬の見直しに関する検討委員会」(2026年1月21日)の内容について報告があるとともに、第15回社員総会での報告内容について検討が行われた(森野会長, 河西常務理事, 全役員)。

(5) 組織対策

ア 2025年度組織拡充事業支援金の支給状況等について報告があった(前川常務理事)。

イ 2026年1月度会員数に関する動向について報告があった(前川常務理事)。

ウ 組織対策事業としての検証を予定している「(仮称)団体会員制度検証事業」(案)の内容について説明があり、実施へ向けた検討が行われた(前川常務理事, 全役員)。

エ 将来的な地域組織歯科技工士会のみならずブロック単位での会務運営を行うことを想定した考え方が示され、引き続き検討を行っていくこととなった(前川常務理事, 全役員)。

オ 今後の会員番号に関する整理を目的とした新たな番号運用(案)について説明があり検討が行われた(前川常務理事, 全役員)。

(6) 教育研修

ア 2025年度、2026年度の歯科技工士生涯研修開催・参加状況及び認可状況について報告があった(石川常務理事)。

イ オンライン研修のみによる生涯研修の開催認定へ向けた「歯科技工士生涯研修規程施行細則」一部改正(案)の内容について検討が行われ、協議内容を踏まえた再案を次回理事会に提出し再検討することとなった(石川常務理事, 全役員)。

(7) 広報企画

ア 「第5回広報企画委員会」(2026年1月17日)及び本日開催の「第6回広報企画委員会」の内容について報告があった(藤王理事)。

イ 「日技デジタル推進座談会」の開催、日技会員アプリ・デジタル会員証の公開へ向けた利用案内マニュアル及び歯科技工士国家試験合格者への入会案内チラシ作成等について報告があった(森野会長, 山下副会長, 佐野理事)。

(8) 歯科技工所管理

ア 次回の「歯科技工所管理委員会」開催日程等、今後の業務推進予定について報告があった(片岡常務理事)。

(9) 歯科技工士労務対策

ア 「第5回歯科技工士労務対策委員会」(2026年1月16日)の内容について報告があった(松尾常務理事)。

イ 日技ホームページでのアーカイブ配信を目的とした「歯科技工士の働き方改革セミナー」の動画撮影について報告があった(松尾常務理事)。

(10) その他

ア 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構からの「第46回全国障害者技能競技大会(アビリンピック)」委員等推薦依頼に関し、5名の会員を推薦した旨の報告があった(松井専務理事)。

イ 関係行政等への折衝活動等の事業推進に対する慰労、「第2回全国会長懇談会」における誠意を持った対応、成果のある組織拡充施策推進の必要性、日技におけるブロック区分けへの見解等に関する監事所見があった(上野・秋山監事)。

以 上

以上をもって本日の理事会は、終始異状なくすべての議事が終了したので、議長は閉会を宣し散会した。